

顎骨の成長発育について

～歯列弓は何歳まで大きくなるのか？～

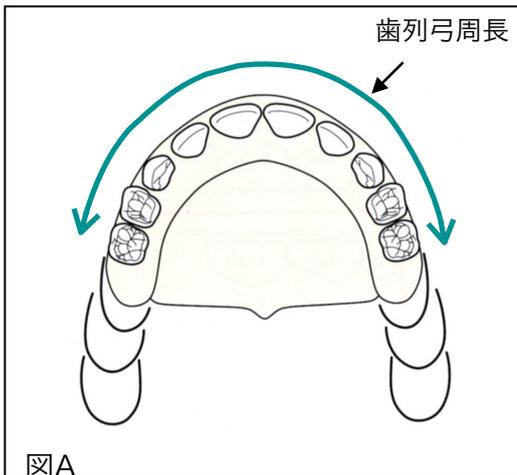


9歳のうちの子、上下ともに前歯がガタガタなのですが、まだ顎(アゴ)は成長しますよね？
自然に歯ならびが良くなりますか？

9歳以後、成長によって歯が並ぶためのスペースは増えることはありません。
ですから、今あるガタガタは、大人になっても今とあまり変わることはないでしょう。



【上顎骨の成長様式】



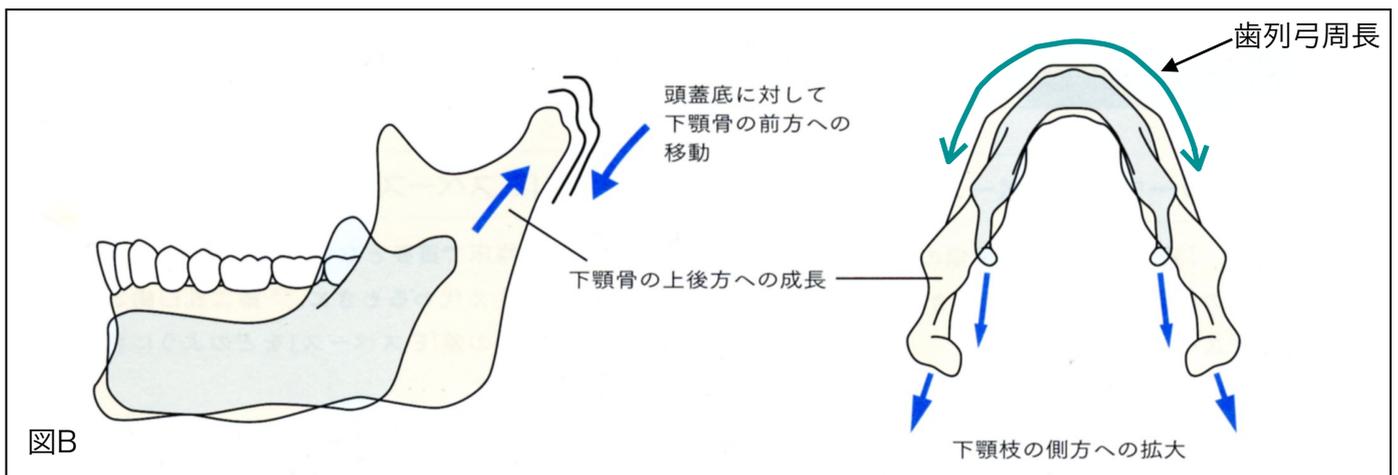
上顎骨歯槽部の水平方向の成長としては、主に歯列後方の上顎結節部の骨添加により前後的長さとの幅の増加が起こります。(図A)

(本橋康助他、歯科矯正臨床アトラス(1) 東京：医歯薬出版、1987:20より引用改変)

【下顎骨の成長様式】

下顎骨の成長は主に「下顎頭軟骨の成長」によって下顎頭が下顎窩に押しやられ、その圧で下顎骨が前下方に移動することによって起こります。

下の図Bに示すように、成長によって主に伸びるのは歯列より後方の下顎枝後縁の部分であり、歯列の部分は成長によって大きくは変化しません。



(Donald H.Enlow. Essentials of FACIAL GROWTH 第2版. 東京：クインテッセンス出版、2016より引用改変)

まとめ

上顎骨も下顎骨も成長によって得られるスペースは歯列後方部となり、歯列弓周長は成長により増加しないのです。